

○愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科規程

（趣旨）

第1条 この規程は、愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科（以下「研究科」という。）が愛知淑徳大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第1条に則り、次の各号に掲げる目的を達成するため、教育課程、授業、研究指導、成績評価等及び運営等について、大学院学則に定めるもののほか必要な事項を定める。

（1） 心理医療科学専攻は、心理学、臨床心理学、社会福祉学、言語聴覚学、言語聴覚障がい学、視能訓練学、視能矯正学及びスポーツ・健康医科学に関する学問分野について、それぞれ高度な専門性をもって、社会の多様な専門分野における研究開発や実践活動に活用できる人材を育成するため、これらの異質でありながら相互に関連しあう諸分野の協働を視野に入れた教育研究活動を行う。

2 この規程に定めるもののほか、研究科の教育課程等に関し必要な事項は、研究科委員会の定めるところによる。

（教員編成）

第2条 研究科は、第1条に掲げる理念・目的を達するため、教育課程、授業、研究指導及び運営等の必要性に基づき、年齢構成及び関連学部の教員編成の方針を考慮しつつ、以下の要件を備えた教員により編成される。

（1） 人格、識見、研究上の業績、大学及び大学院での教育経験及び運営の能力、学会及び社会における活動並びに心身の健康状態等につき、大学院における専門教育及び研究指導を行う教員たるに適する条件を備えていること。

（2） 研究科の基本理念、教育目標を共有し実践するために、人間と人間の心身の健康並びに健全な社会生活に対する深い洞察力を持ち、研究科を構成する心理学、臨床心理学、社会福祉学、言語聴覚学、視覚科学、及びスポーツ・健康医科学の各専修の専門性を尊重し、幅広く理解しようとする者であること。

（3） 学生指導、研究科運営に当たっては、研究科及び各専修の教育課程編成の基本方針を尊重し、協働できる者であること。

（研究科委員会）

第3条 研究科委員会は、研究科長が招集し、その議長となる。

2 研究科長に事故あるときは、あらかじめ研究科委員会において、研究科長が指名した委員が議長の職務を行う。

3 研究科委員会は、委員（海外出張中又は休職中の者を除く。）の3分の2以上の出

席がなければ、議事を開くことはできない。

- 4 議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 研究科長は、研究科委員会において審議した結果を、学長に報告しなければならない。
- 6 研究科委員会の運営に関して必要な事項は別に定める。

(授業科目、単位数及び履修方法及び研究指導)

第4条 研究科における授業科目、単位数、履修方法及び研究指導は、別表のとおりとする。

- 2 授業科目の単位数の計算の基準は、研究科委員会の意見に基づき学長の定めるところによる。

(指導教員)

第5条 入学又は進学を許可された者には、指導教員を定める。

- 2 指導教員は、2人以上とすることができる。その場合において、主たる指導教員は1人とする。
- 3 前項の場合に必要なときは、従たる指導教員として他の専修の教員をもって充てることができる。

(研究計画書及び研究成果報告書等の提出)

第6条 博士前期課程に入学を許可された者は、指定の期日までに研究計画書及び履修計画書を作成し、研究科長に提出しなければならない。

- 2 博士後期課程に入学又は進学を許可された者は、指導教員の指導のもとに指定の期日までに研究計画書を作成し、毎年研究科長に提出しなければならない。
- 3 博士後期課程に複数年在籍する学生は、毎年度研究科委員会開催の博士論文中間報告会において研究報告を行うとともに、毎年度末に研究成果報告論文を作成し、前項と同様の手続きを経るものとする。ただし、当該年度に博士の学位請求論文を提出した場合は、この限りではない。

(入学前の本研究科における既修得単位の認定)

第7条 学生が入学する前に本研究科において修得した単位については、16単位を超えない範囲で博士前期課程修了の要件となる単位として認定することができる。

- 2 前項による単位の認定方法については、研究科委員会の定めるところによる。

(他の研究科の授業科目の履修)

第8条 学生が本学の他の研究科において授業科目を履修し修得した単位について

は、10単位を超えない範囲で博士前期課程修了の要件となる単位として認定することができる。

2 前項による単位の認定方法については、研究科委員会の定めるところによる。

(学部の授業科目の履修)

第9条 学生は、指導教員及び当該科目担当教員の承認を得て、学部の授業科目を履修することができる。ただし、これにより修得した単位については、課程修了の要件単位には含まないものとする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て、研究科長の上申により学長が行う。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年5月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の第1条、第2条および第5条の規定は、平成31年度以後に入学する者から適用し、平成30年度までに入学した者については、なお従前の例による。

附 則

（施行期日）

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 改正後の第6条の規定は、平成29年度以後に入学する者から適用し、平成28年度までに入学した者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

別表

心理医療科学研究科 心理医療科学専攻 博士前期課程

(令和4年度以降入学者)

科目群		授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
専門基礎科目	講義科目	社会福祉特論		2	科目群の専門基礎科目から6単位以上選択必修
		障害福祉特論		2	
		子ども福祉特論		2	
		精神保健福祉特論		2	
		発達心理学特論		2	
		生涯発達心理学特論		2	
		教育心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開B)		2	
		臨床心理学研究法特論		2	
	演習科目	心理アセスメント演習		4	
		心理学実験演習		4	
		心理医療科学統計演習1		2	
		心理医療科学統計演習2		2	
		心理医療科学英語演習1		2	
心理医療科学英語演習2		2			
専門中心科目	心理学専修	神経心理学特論		2	心理学専修は科目群の専門中心科目「心理学専修」から8単位以上選択必修
		認知神経心理学特論		2	
		比較心理学特論		2	
		対人社会心理学特論		2	
		認知発達心理学特論		2	
		コミュニケーション心理学特論		2	
		応用認知心理学特論		2	
		比較発達行動学特論		2	
	臨床心理学専修	臨床心理学特論1 (青年期・成人期の心理臨床)		2	臨床心理学専修は科目群の専門中心科目「臨床心理学専修」から12単位以上選択必修
		臨床心理学特論2 (児童期の心理臨床)		2	
		家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践A)		2	
		地域支援心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践B)		2	
		臨床心理面接特論1 (心理支援に関する理論と実践)		2	
		臨床心理面接特論2 (力動論と行動論)		2	
		学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開A)		2	
投映法特論		2			

科目群	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	備考		
専門中心科目	グループアプローチ特論		2			
	障害児発達心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		2			
	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開A)		2			
	心身医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開B)		2			
	非行・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2			
	産業精神保健特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)		2			
	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)		2			
	臨床心理査定演習1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)		2			
	臨床心理査定演習2 (臨床現場と心理アセスメント)		2			
	臨床心理基礎実習1		1			
	臨床心理基礎実習2a		1			
	臨床心理基礎実習2b		1			
	心理実践実習1a		2			
	臨床心理実習1a (心理実践実習1b)		2			
	臨床心理実習1b (心理実践実習1c)		2			
	臨床心理実習2a (心理実践実習3)		1			
	臨床心理実習2b		1			
	心理実践実習2a		2			
	心理実践実習2b		2			
	心理実践実習2c		2			
	社会福祉学専修	社会福祉方法特論			2	社会福祉学専修は科目群の専門中心科目「社会福祉学専修」から8単位以上選択必修
		社会福祉調査法演習			2	
		地域福祉特論			2	
		高齢者福祉特論			2	
		ソーシャルワーク史特論			2	
		社会福祉法特論			2	
		医療福祉特論 スーパービジョン(演習)			2	
言語聴覚学専修	言語心理学特論		2	言語聴覚学専修は科目群の専門中心科目「言語聴覚学専修」から8単位以上選択必修		
	言語聴覚病理学特論1		2			
	言語聴覚病理学特論2		2			
	言語聴覚療法特論		2			
	言語発達障害学演習		2			
	発声発語障害学演習		2			

科目群		授業科目	必修 単位数	選 択 単位数	備 考
専門 中心 科目	言語 聴覚 学 専修	高次脳機能障害学演習		2	視覚科学専修は科目群の専門中心科目「視覚科学専修」から8単位以上選択必修 スポーツ・健康医科学専修は科目群の専門中心科目「スポーツ・健康医科学専修」から8単位以上選択必修
		聴覚障害学演習		2	
		摂食嚥下障害学演習		2	
		聴覚生理学特論		2	
	視覚 科学 専修	視覚心理学特論		2	
		生理光学特論		2	
		視覚病理学特論		2	
		視覚障害学特論		2	
		視覚心理学演習		2	
		視能検査学演習		2	
		視能矯正学演習		2	
		視覚障害学演習1		2	
	視覚障害学演習2		2		
	スポーツ・ 健康 医 科 学 専修	健康医科学特論		2	
		健康発達看護学特論		2	
		環境健康科学特論		2	
		地域栄養活動演習		2	
		精神保健演習		2	
		加齢医学演習		2	
		栄養科学演習		2	
生理機能検査学特論			2		
スポーツ認知心理学特論			2		
健康心理学特論			2		
スポーツ文化論特論			2		
スポーツ整形外科演習			2		
医療管理情報学特論			2		
循環・代謝障害理学療法学特論			2		
健康運動科学特論		2			
救急救命システム特論		2			
研究 科目	心理 学 専修	心理学研究1	2	心理学専修は 8単位必修	
		心理学研究2	2		
		心理学研究3	2		
		心理学研究4	2		
	臨床 心理 学 専修	臨床心理学研究1	2	臨床心理学専修は 4単位必修	
		臨床心理学研究2	2		
	社会 福祉 学 専修	社会福祉研究1	2	社会福祉学専修は 8単位必修	
		社会福祉研究2	2		
		社会福祉研究3	2		
		社会福祉研究4	2		
	言語 聴覚 学 専修	言語聴覚学研究1	2	言語聴覚学専修は 8単位必修	
		言語聴覚学研究2	2		
		言語聴覚学研究3	2		
		言語聴覚学研究4	2		

科目群		授業科目	必修 単位数	選択 単位数	備考
研究 科目	視 覚 科 学 専 修	視覚科学研究1	2		視覚科学専修は 8単位必修
		視覚科学研究2	2		
		視覚科学研究3	2		
		視覚科学研究4	2		
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 医 学 専 修	スポーツ・健康医科学研究1	2		スポーツ・健康医科 学専修は8単位必修
		スポーツ・健康医科学研究2	2		
		スポーツ・健康医科学研究3	2		
		スポーツ・健康医科学研究4	2		

心理医療科学研究科博士前期課程を修了するためには、1年又は2年以上在学して上記カリキュラム表の修了要件欄に掲げる要件を各専修毎で満たした上、自由履修単位（心理医療科学研究科前期課程のすべての科目）を加えて合計30単位以上修得し、修士論文の作成と審査に合格しなければならない。ただし、各専修ともに在学期間に関しては、研究科委員会によって特に優秀な学生または優れた実績を持つと認められた者は、特例として1年以上在学すれば修了を認定することができる。

なお、臨床心理学専修については、臨床心理士および公認心理師の受験資格取得のためのカリキュラムにより構成されているため、それらの科目すべてを履修する必要がある、1年での修了は認定されない。

別表

心理医療科学研究科 心理医療科学専攻 博士前期課程

(令和3年度入学者)

科目群		授業科目	必修 単位数	選択 単位数	備考
専門基礎科目	講義科目	社会福祉特論		2	科目群の専門基礎科目から6単位以上選択必修
		社会福祉方法特論		2	
		障害福祉特論		2	
		発達心理学特論		2	
		生涯発達心理学特論		2	
		教育心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開B)		2	
		臨床心理学研究法特論		2	
	演習科目	社会福祉調査法演習		2	
		心理アセスメント演習		4	
		心理学実験演習		4	
		心理医療科学統計演習1		2	
		心理医療科学統計演習2		2	
		心理医療科学英語演習1		2	
		心理医療科学英語演習2		2	
専門中心科目	心理学専修	神経心理学特論		2	心理学専修は科目群の専門中心科目「心理学専修」から8単位以上選択必修
		認知神経心理学特論		2	
		比較心理学特論		2	
		対人社会心理学特論		2	
		認知発達心理学特論		2	
		コミュニケーション心理学特論		2	
		応用認知心理学特論		2	
		比較発達行動学特論		2	
	臨床心理学専修	臨床心理学特論1 (青年期・成人期の心理臨床)		2	臨床心理学専修は科目群の専門中心科目「臨床心理学専修」から12単位以上選択必修
		臨床心理学特論2 (児童期の心理臨床)		2	
		家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践A)		2	
		地域支援心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践B)		2	
		臨床心理面接特論1 (心理支援に関する理論と実践)		2	
		臨床心理面接特論2 (力動論と行動論)		2	
学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開A)		2			
投映法特論		2			

科目群	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	備考		
専門中心科目	グループアプローチ特論		2			
	障害児発達心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		2			
	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開A)		2			
	心身医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開B)		2			
	非行・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2			
	産業精神保健特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)		2			
	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)		2			
	臨床心理査定演習1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)		2			
	臨床心理査定演習2 (臨床現場と心理アセスメント)		2			
	臨床心理基礎実習1		1			
	臨床心理基礎実習2a		1			
	臨床心理基礎実習2b		1			
	心理実践実習1a		2			
	臨床心理実習1a (心理実践実習1b)		2			
	臨床心理実習1b (心理実践実習1c)		2			
	臨床心理実習2a (心理実践実習3)		1			
	臨床心理実習2b		1			
	心理実践実習2a		2			
	心理実践実習2b		2			
	心理実践実習2c		2			
	社会福祉学専修	地域福祉特論			2	社会福祉学専修は科目群の専門中心科目「社会福祉学専修」から8単位以上選択必修
		高齢者福祉特論			2	
		子ども福祉特論			2	
		精神保健福祉特論			2	
		ソーシャルワーク史特論			2	
		社会福祉法特論			2	
		医療福祉特論			2	
		スーパービジョン(演習)			2	
	言語聴覚学専修	言語心理学特論			2	言語聴覚学専修は科目群の専門中心科目「言語聴覚学専修」から8単位以上選択必修
言語聴覚病理学特論1			2			
言語聴覚病理学特論2			2			
言語聴覚療法特論			2			
言語発達障害学演習			2			
発声発語障害学演習			2			

科目群		授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
専門 中心 科目	言語聴覚学専修	高次脳機能障害学演習		2	視覚科学専修は科目群の専門中心科目「視覚科学専修」から8単位以上選択必修 スポーツ・健康医科学専修は科目群の専門中心科目「スポーツ・健康医科学専修」から8単位以上選択必修
		聴覚障害学演習		2	
		摂食嚥下障害学演習		2	
		聴覚生理学特論		2	
	視覚科学専修	視覚心理学特論		2	
		生理光学特論		2	
		視覚病理学特論		2	
		視覚障害学特論		2	
		視覚心理学演習		2	
		視能検査学演習		2	
		視能矯正学演習		2	
		視覚障害学演習1		2	
	視覚障害学演習2		2		
	スポーツ・健康医科学専修	健康医科学特論		2	
		健康発達看護学特論		2	
		環境健康科学特論		2	
		地域栄養活動演習		2	
		精神保健演習		2	
		加齢医学演習		2	
		健康運動器学論		2	
栄養科学演習			2		
生理機能検査学特論			2		
スポーツ認知心理学特論			2		
スポーツ文化論特論			2		
スポーツ整形外科演習			2		
医療管理情報学特論		2			
循環・代謝障害理学療法学特論		2			
健康運動科学特論		2			
研究 科目	心理学専修	心理学研究1	2	心理学専修は8単位必修	
		心理学研究2	2		
		心理学研究3	2		
		心理学研究4	2		
	臨床心理学専修	臨床心理学研究1	2	臨床心理学専修は4単位必修	
		臨床心理学研究2	2		
	社会福祉学専修	社会福祉研究1	2	社会福祉学専修は8単位必修	
		社会福祉研究2	2		
		社会福祉研究3	2		
		社会福祉研究4	2		
	言語聴覚学専修	言語聴覚学研究1	2	言語聴覚学専修は8単位必修	
		言語聴覚学研究2	2		
		言語聴覚学研究3	2		
		言語聴覚学研究4	2		

科目群		授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
研 究 科 目	視 覚 科 学 専 修	視覚科学研究1	2		視覚科学専修は 8単位必修
		視覚科学研究2	2		
		視覚科学研究3	2		
		視覚科学研究4	2		
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 医 科 学 専 修	スポーツ・健康医科学研究1	2		スポーツ・健康医科 学専修は8単位必修
		スポーツ・健康医科学研究2	2		
		スポーツ・健康医科学研究3	2		
		スポーツ・健康医科学研究4	2		

心理医療科学研究科博士前期課程を修了するためには、1年又は2年以上在学して上記カリキュラム表の修了要件欄に掲げる要件を各専修毎で満たした上、自由履修単位（心理医療科学研究科前期課程のすべての科目）を加えて合計30単位以上修得し、修士論文の作成と審査に合格しなければならない。ただし、各専修ともに在学期間に関しては、研究科委員会によって特に優秀な学生または優れた実績を持つと認められた者は、特例として1年以上在学すれば修了を認定することができる。

別 表

心理医療科学研究科 心理医療科学専攻 博士後期課程

(令和2年度以降入学者)

科目群	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
心理学専修	心理学特殊研究Ⅰa	2		各年次4単位以上、 合計12単位以上選 択必修
	心理学特殊研究Ⅰb	2		
	心理学特殊研究Ⅱa	2		
	心理学特殊研究Ⅱb	2		
	心理学特殊研究Ⅲa	2		
	心理学特殊研究Ⅲb	2		
臨床心理学専修	臨床心理学特殊研究Ⅰa	2		各年次4単位以上、 合計12単位以上選 択必修
	臨床心理学特殊研究Ⅰb	2		
	臨床心理学特殊研究Ⅱa	2		
	臨床心理学特殊研究Ⅱb	2		
	臨床心理学特殊研究Ⅲa	2		
	臨床心理学特殊研究Ⅲb	2		
社会福祉学専修	社会福祉学特殊研究Ⅰa	2		各年次4単位以上、 合計12単位以上選 択
	社会福祉学特殊研究Ⅰb	2		
	社会福祉学特殊研究Ⅱa	2		
	社会福祉学特殊研究Ⅱb	2		
	社会福祉学特殊研究Ⅲa	2		
	社会福祉学特殊研究Ⅲb	2		
言語聴覚学専修	言語聴覚学特殊研究 (言語心理学) 1		2	各年次4単位以上、合 計12単位以上選 択必修
	言語聴覚学特殊研究 (言語聴覚学) 1		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達障害学) 1		2	
	言語聴覚学特殊研究 (聴覚神経科学) 1		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達学) 1		2	
	言語聴覚学特殊研究 (失語症学) 1		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語心理学) 2		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語聴覚学) 2		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達障害学) 2		2	
	言語聴覚学特殊研究 (聴覚神経科学) 2		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達学) 2		2	
	言語聴覚学特殊研究 (失語症学) 2		2	

科目群	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
言語聴覚学専修	言語聴覚学特殊研究 (言語心理学) 3		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語聴覚学) 3		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達障害学) 3		2	
	言語聴覚学特殊研究 (聴覚神経科学) 3		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達学) 3		2	
	言語聴覚学特殊研究 (失語症学) 3		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語心理学) 4		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語聴覚学) 4		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達障害学) 4		2	
	言語聴覚学特殊研究 (聴覚神経科学) 4		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達学) 4		2	
	言語聴覚学特殊研究 (失語症学) 4		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語心理学) 5		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語聴覚学) 5		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達障害学) 5		2	
	言語聴覚学特殊研究 (聴覚神経科学) 5		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達学) 5		2	
	言語聴覚学特殊研究 (失語症学) 5		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語心理学) 6		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語聴覚学) 6		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達障害学) 6		2	
	言語聴覚学特殊研究 (聴覚神経科学) 6		2	
	言語聴覚学特殊研究 (言語発達学) 6		2	
	言語聴覚学特殊研究 (失語症学) 6		2	

科目群	授業科目	必修 単位数	選 択 単位数	備 考
視 覚 科 学 専 修	視覚科学特殊研究 (視能矯正学a) 1		2	各 年 次 4 単 位 以 上 、 合 計 12 単 位 以 上 選 択 必 修
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学b) 1		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚病理学) 1		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚障害学a) 1		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学a) 1		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学b) 1		2	
	視覚科学特殊研究 (視能検査学) 1		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学a) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学b) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚病理学) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚障害学a) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学a) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学b) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視能検査学) 2		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学a) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学b) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚病理学) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚障害学a) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学a) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学b) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視能検査学) 3		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学a) 4		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学b) 4		2	

科目群	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
視 覚 科 学 専 修	視覚科学特殊研究 (視覚病理学) 4		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚障害学a) 4		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学a) 4		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学b) 4		2	
	視覚科学特殊研究 (視能検査学) 4		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学a) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学b) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚病理学) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚障害学a) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学a) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学b) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視能検査学) 5		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学a) 6		2	
	視覚科学特殊研究 (視能矯正学b) 6		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚病理学) 6		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚障害学a) 6		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学a) 6		2	
	視覚科学特殊研究 (視覚心理学b) 6		2	
	視覚科学特殊研究 (視能検査学) 6		2	
	ス ポ ー ツ ・ 健 康 医 科 学 専 修	スポーツ・健康医科学特殊研究 (加齢医学) 1		
スポーツ・健康医科学特殊研究 (栄養科学) 1			2	
スポーツ・健康医科学特殊研究 (下肢運動障害) 1			2	
スポーツ・健康医科学特殊研究 (医療管理情報学) 1			2	
スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ心理学) 1			2	

科目群	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	備考
スポーツ・健康医科学専修	スポーツ・健康医科学特殊研究 (循環・代謝障害理学療法学) 1		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (生理機能検査学) 1		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ史) 1		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (加齢医学) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (栄養科学) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (下肢運動障害) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (医療管理情報学) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ心理学) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (循環・代謝障害理学療法学) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (生理機能検査学) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ史) 2		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (加齢医学) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (栄養科学) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (下肢運動障害) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (医療管理情報学) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ心理学) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (循環・代謝障害理学療法学) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (生理機能検査学) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ史) 3		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (加齢医学) 4		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (栄養科学) 4		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (下肢運動障害) 4		2	
スポーツ・健康医科学特殊研究 (医療管理情報学) 4		2		
スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ心理学) 4		2		

科目群	授 業 科 目	必 修 単位数	選 択 単位数	備 考
ス ポ ー ツ ・ 健 康 医 科 学 専 修	スポーツ・健康医科学特殊研究 (循環・代謝障害理学療法学) 4		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (生理機能検査学) 4		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ史) 4		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (加齢医学) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (栄養科学) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (下肢運動障害) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (医療管理情報学) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ心理学) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (循環・代謝障害理学療法学) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (生理機能検査学) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ史) 5		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (加齢医学) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (栄養科学) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (下肢運動障害) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (医療管理情報学) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ心理学) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (循環・代謝障害理学療法学) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (生理機能検査学) 6		2	
	スポーツ・健康医科学特殊研究 (スポーツ史) 6		2	

心理医療科学研究科博士後期課程を修了するためには、原則として3年以上在学して上記科目中、指導教員の特殊研究を含む12単位以上を修得し、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。